

児童発達支援及び放課後等デイサービスに係る  
自己評価結果等の公表にかかる届出書

2022 年 3 月 22 日

青森市長様

所在地 青森県青森市花園 1 丁目 2 3 番 5 号  
法人名 みちのくサポート株式会社  
代表者 職 氏名 代表取締役 藤本 尚代

1 事業所情報

事業所名	こどもプラス 青森東教室		
事業所番号	250161387		
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/> 放課後等デイサービス	
所在地	青森県青森市茶屋町 6 番 1 4 号		
連絡先	017-752-7875	担当者名	藤本 尚代

2 取組時期

職員による評価	2022年2月14日	～	2022年3月5日
保護者による評価	2022年2月14日	～	2022年3月5日
事業所全体による評価	2022年3月7日	～	2022年3月19日

2 公表状況

公表日	2022 年 3 月 22 日		
公表方法	《児童発達支援》		
	<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ掲載	(URL : <a href="http://kp-aomorihigashi.com/">http://kp-aomorihigashi.com/</a> )
	<input type="checkbox"/>	会報等に掲載し配布	(会報等の名称 )
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	(具体的な方法 : 結果を個別に配布 )
	《放課後等デイサービス》		
	<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ掲載	(URL : <a href="http://kp-aomorihigashi.com/">http://kp-aomorihigashi.com/</a> )
	<input type="checkbox"/>	会報等に掲載し配布	(会報等の名称 )
<input checked="" type="checkbox"/>	その他	(具体的な方法 : 結果を個別に配布 )	
公表内容	各サービスの「事業所における自己評価結果 (公表)」及び「保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)」を添付してください。		

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年3月23日

事業所名:こどもプラス 青森東教室

・保護者等数(児童数):20(20) ・回収数:17 ・割合:85%

	チェック項目	ご意見 (ご意見を踏まえた対応)				
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	3			欲を言えばもう少し広いスペースでも良いと思う。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17				
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	2		1	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	17				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	17				
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	4	3		(今までに教室主導で児童会や児童館の児童と交流する機会を設けたことはありません。)
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16			1	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	17				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17				
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	8		(今年度はコロナウイルスの影響により、児童発達支援で1度しか開催できませんでした。)
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13				(保護者からのご意見に関しては、日々の朝礼や終礼時に職員間で共有し対策を検討したうえで対応しています。)
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17				
14 個人情報に十分注意しているか	16			1		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	3		1	周知についてこちらが覚えてないだけかもしれませんが。 (来年度よりホームページで閲覧できるよう整備します。)
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13			4	(今年度の避難訓練は、夏休みと冬休みに地震・火災・川の氾濫を想定し、全員が参加できるよう一週間通して行いました。)
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	16			1	毎回楽しんで通ってくれるので満足です。
	18 事業所の支援に満足しているか	16	1			良い所は褒めてくれ、悪い所も注意してくれるがもう少し悪い所が減ると良い。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月23日

事業所名:こどもプラス 青森東教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			
	2 職員の配置数は適切である	6			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	3		完全なバリアフリーにはなっていない。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	3		改めて第三者に評価をしてもらったことはないが、今後は検討していきたい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6				
関係機関 や保護者 との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6			

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	2	現段階で該当児童はいないが、情報提供等の準備はできている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6	こちらが主導で交流会等の機会を設けたことはない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		6	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	2	家庭での対応に困っている保護者に対して対応方法等の提案をしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	コロナウイルスの影響により、今年度は1度しか開催できなかった。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		
	35	個人情報に十分注意している	6		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	教室の行事等に地域住民を招待したことはないが、保護者からの希望があれば前向きに検討する。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	2	事前に説明をし了解は得ているが、支援計画に記載はないので来年度より対応する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和 4年 3月 23日

事業所名：こどもプラス 青森東教室

保護者等数(児童数)：14(15) 回収数：13 割合：92.8%

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	1		2
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	1		1
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10			3
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11	1		1
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	13			
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12			1
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12	1		
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	12			1
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	1	3	6
保護者 への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13			
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	12			1
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	5	2	1	5
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	11	2		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	1		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	1	3	5

保護者への説明等	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13			
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13			
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12			1
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	13			
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	8			5
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1		8
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	11	1		1
	23	事業所の支援に満足しているか	13			

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和 4年 3月 23日

事業所名：こどもプラス 青森東教室

保護者等数(児童数)：14(15) 回収数：13 割合：92.8%

	チェック項目	ご意見(ご意見を踏まえた対応)
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	・適切な広さがわからない。(国の基準を満たしています。) ・もう少し広いと理想的ですが危険だと思った事はありません。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	・人数は適正だと思うが、専門性についてはわからない。(保育士や小中高教諭の資格保持者を配置しています。) ・手厚い支援を受けられていると思っています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	・字が読めない子供への工夫もされていると思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	・今のニーズに加え、これから想定しうる困り事も考えて対応して下さり参考になってます。 ・無理のない療育計画をして頂いています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	・親子共に信頼関係を築けていると思っています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	・子供に必要なタイミングで支援の強化変更をして頂いています。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	・様々な活動があり満足しております。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	・コロナ禍の為。(今までに教室主導で保育所や認定こども園、幼稚園等と交流する機会を設けたことはありません。)
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	・とても丁寧で温かい対応で安心しました。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	・もっとアドバイスを頂きたい。 ・トレーニングの様な物はないが14番の様事はあるのでありがたいです。 ・面談時に色々お話を聞けるのが勉強刺激になっています。 ・夫婦で参加できるのでありがたいです。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	・今日も頑張っていましたと聞いていたので問題無しと思っていたらそうでもなかった様で、マイナス面も教えてほしい。(今後は活動内容をお伝える際に色々な事を詳しくお伝えできるようにします。) ・毎回LINEでその日の様子も教えて頂けるのでありがたいです。送迎時もお話できるので。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	・たくさん助言を頂いています。相談もしやすいです。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	・コロナ禍の為。(コロナウイルスの影響により、今年度は1度しか開催できませんでした。)

保護者への説明等	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	・辛い時に面談の提案をして頂いたり助けてもらいました。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	・連絡がLINEになりより子供の様子や相談がしやすくなりました。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	・月末に頂けるお便りは毎月楽しみにしています。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	・利用している子供達が訓練をした事があるかはわかりません。 (児童発達支援の子ども達には避難訓練は実施していません。指導員がロールプレイング等で訓練をしています。) ・コロナ対応に不満はありません。連絡手段もLINEになり良かったと思っています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	・万が一の避難場所等を忘れてしまいました。 (来年度より、各種マニュアルや避難場所、連絡手段等をホームページで閲覧できるよう整備します。)
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	・本人のその日の気分なのでどちらともいえないです。 ・子供にとって安心できる場でありかつ頑張ろうと向かっていくのが分かり安心して送り出せています。
	23	事業所の支援に満足しているか	・満足しているが、子供の反応が良いので一日実施してほしい。 ・いつも親身になって下さり心強く思っています。 ・先生方には感謝しかありません。

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。



児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4年 3月 23日

事業所名：こどもプラス 青森東教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			
	2 職員の配置数は適切である	6			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	3		障害の特性に合わせた設備を意識しているが、完全なバリアフリーにはなっていない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	3		改めて第三者に評価をしてもらったことはないが、今後は検討していきたい。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6				

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	2		現段階では該当児童の利用はないが、準備はできている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	2		現段階では該当児童の利用はないが、準備はできている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	4		こちらが主導で交流会等の機会を設けたことはない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	4		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	2		家庭での対応に困っている保護者に対して、対応方法等の提案を行っている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2		コロナウイルスの影響により、今年度は1度しか開催できなかった。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6		教室の行事等に地域住民を招待したことはないが、保護者からの希望があれば前向きに検討する。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	2		事前に説明をし了解は得ているが、支援計画に記載はないので来年度より対応する。